

八ヶ岳赤岳鉱泉アイスクライミング山行報告

(山城) 八ヶ岳
(日時) 3月11日(土)～12日(日)
(天候) 快晴
(参加者) CL 宮城・SL 狩野・小原・時田
(山行タイム)

11日 美濃戸口 9:00～美濃戸 9:40～堰堤広場 11:00～赤岳
鉱泉 11:45

12日 アイスクライミング練習 8:30～(昼食) 赤岳鉱泉 15:00～美濃戸口 16:55

1月の赤岳鉱泉アイスクライミング初級者講習会に参加したメンバーで計画した。美濃戸Pが満車になる前に到着できる様にと、同乗の佐藤さんと時田は宮城宅に前泊させていただき、早朝出発とした。

ところが順調に美濃戸口に到着するも、その先路面凍結の為チェーンの無い車は通行止め...美濃戸口からの歩きとなった。



既に春の陽気で薄着でちょうどいい、サングラスも汗で曇るほどだ。

3時間程で赤岳鉱泉に到着しチェックイン。青い空に大きなガリガリ君がとても綺麗!

食堂で昼食をとったら一登りの予定だが、注文したのはもつ煮と酎ハイ、、、

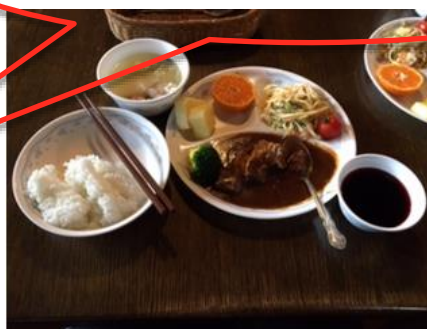
???ジョウゴ沢?遠いの? となり、ダメダメの5人はコタツの人となりました。

が、折角きたのにただコタツでぬくぬくしていいわけ無い!

ロープの練習を繰り返しやりました。



料理初心者か指も料理!!



赤岳鉱泉一番のお楽しみ夕食メニューはビーフシチューとポトフでした。持参の赤ワインで乾杯です!

明日、赤岳～横岳～硫黄岳を予定している佐藤さんは、ダメ人間達の誘惑に負ける事なくそうそうにテントに帰って行きました。

翌朝、3時過ぎから廊下では登山客の準備の音、、、もう少し寝かせて～
アイスクャンディの受付は8時の為、朝食は最後のグループで焼きたてのさかな定食をいただきました。

くだらないことをダラダラ書きましたが、やっとこれから。

利用料は1,000円で、縦爪アイゼンやアイスアックス等は1品500円でレンタルできる為、お試しには最適ですね。

今回は講習会以降初めての利用なので、支点の作り方や諸注意を聞く。いよいよだ！

この日は日曜日なので、前回私達が受けた初級者講習会も行われている為に使える面は垂直なところばかりだ。

良さそうな面にロープを掛ける。1月よりアイスクャンディは育っていて大きく氷が硬そうだ。

1番手 宮城選手、ガツガツ登る。

2番手 狩野選手、一手、一步が大きいから速い

3番手 小原選手、沢で鍛え上手

最後はなぜか参加した時田選手 びびりながらも如何にか登る。

交代しながら、1本目より2本目みんな成長。

面を移して挑戦、2面目は上部がきつい！！

みんなその辺りを超える時に唸る、吠える（笑）頑張る。

女性の腕力だといくら軽いアックスでも打つ力が続かないので既にできている穴を上手く使って登ってみる。腕力温存だ。

小屋の方達も初級者講習会に参加した人がリポートしてくれてきたという事で喜んでくださり、代わる代わるアドバイスをしてくれた。

講習会が終わり食堂が混む前に早めの昼食をとり、アックスを代えて再度練習。

3面目は小屋の方のアドバイスもありスラブの面で3点確保の練習。面が寝ている分、腕パンプしないのでゆっくり確認しながらできた。

やはりシーズンに複数回できると登れるようになり楽しめる。今回私はビレイにも初挑戦した。

ある意味自分が登るより緊張する。これも反復練習をするのみですね。

1日目グズグズだったメンバーも今日のアイスは大満足！！



縦走から戻った佐藤さんもお昼寝から目覚めテントを撤収し合流。

15時赤岳鉱泉を後にする。

下山はくだりリスト、宮城、小原選手が速い速い！でも実は早く靴を脱ぎたかったらしい。

近くのもみの湯で汗を流し、洋食屋ペチカで夕食をいただき帰葉。



2年前、ハイキングしたくて門をくぐったれば山で沢や岩、アイスまで体験した自分が信じられないが、これも縁。
楽しく安全に末長く宜しくお願いします。
時田（記）